



夢清らかに 今庄っ子

今庄小学校 学校だより 第18号 ～ 令和5年6月23日

校外学習～町たんけん 2年生～

21日に2年生が町たんけんに出かけました。2年生は現在、生活科で「どきどきわくわくまちたんけん」の学習をしています。この活動は、身近な生活圏である地域に出て、そこで生活したり働いたりしている人と接し、自分たちの生活を支えていることや楽しくしていることを知り、地域に親しみや愛着を持ち、人々と適切に接することや安全に生活できるようにすることを目指します。今回は「こいね たんけんたい」「いまじょうカービィー たんけんたい」（なかなか面白いグループ名を付けました。）の2つのグループに分かれ、今庄地区内のお店を訪問しました。訪れたお店でどのような物が売られているのか、子ども達は興味津々で見学していました。その際、「おすすめの商品は何ですか。」「うれしいことや大変なことはどんなことですか。」など自分たちが考えた質問をしっかりと尋ねることができました。お店の方も子ども達の質問に丁寧に答えてくださいました。今回の町たんけんでは子ども達は様々な発見があったようで、納得顔で学校に戻ってきたのが印象的でした。

「子供は地域の宝」と言われます。地域のみなさんの温かな愛情の中ですくすくと育ててくれることを願っています。探検にご協力くださいましたみなさま、ありがとうございました。



租税教室～6年生～

21日に6年生が租税教室を行いました。町の租税教育推進協議会の事業の一つで「税がどのように使われているのか」や「税の必要性」などについて学ぶものです。6年生は社会科の授業で「わたしたちの生活と政治」の学習をしました。その中で日本国憲法、基本的人権の尊重について学びました。そして、国民には税金を納める義務があり、その税金により自分たちの生活がより過ごしやすくなっていることを知りました。今回の租税教室では税務署の方を講師として税のお話を伺いました。その中で「医療にかかったお金をどれだけ支払うのか」や「教育にかかるお金が一人あたりどれくらい使われるのか」などを教えていただきました。また身近な税にはどのような税があるかを子供たちから引き出し、それぞれの税がどのくらいの年齢になると自分たちと関わるようになるのかを具体的に示し、自分と結びつけやすく工夫されていました。最後に「税金はみんながよりよく生活していけるための会費のようなものです」とまとめられていました。今回は45分の授業時間でしたが、税の必要性は理解できたのではないかと思います。子ども達が税金を納めるという感覚はまだ実感できないところもあるでしょう。しかし、今後正しい納税者として成長してくれると共に、今のように学校に



来て不自由なく勉強できるには税金が役立てられていることに感謝してもらえたらと思います。

読み聞かせ

22日に読み聞かせがありました。

<読まれた本>



ムーミンのともだち



ふたりはずっと



すいぞくかんのおいしゃさん